

令和4年度 第1回 上島小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年4月25日（月） 13時00分から15時15分
- 2 開催場所 上島小学校 会議室
- 3 出席委員 黒柳 寿一、山崎 賜、青木 榮治、大橋 薫、小坂 喜世子、山本 暢子
池村 俊典、森園 大介、安川彰一、横山 美保
- 4 欠席委員 なし
- 5 学校職員 山本 千興（校長）、佐山 淳一（教頭）、山内 剛治（主幹教諭）、
- 6 オブザーバー 浜松市曳馬協働センター所長 瀧 尚也
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
 - (1) 会長あいさつ
 - (2) 校長あいさつ
 - (3) 新規委員への任命伝達
 - (4) 自己紹介
 - (5) 「浜松市学校運営協議会規則」の確認及び「学校運営協議会自己評価」について
 - (6) 議長の選出 ※出席した委員の中から互選
 - (7) 熟議内容
 - ① 令和4年度学校運営の基本方針について（校長）
 - ② 「夢育やらまいか事業」について（教頭）
 - ③ 学校運営協議会自己評価〈評価項目1〉の記入（会長）
- 9 会議録作成者 CSディレクター 清水 遥
- 10 会議記録
 - 司会の山内主幹から、委員総数10人の内9人の出席があり、過半数を超えているため会議が成立している旨報告があった。
 - 小坂議員は遅れて参加の予定
 - 佐山教頭より浜松市学校運営協議会規則の説明があった。
 - (1) 議長の選出について
 - 司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、青木委員より黒柳委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
 - (2) 会議内容について
 - ① 令和4年度学校運営の基本方針について
 - 山本校長から別紙資料に基づき学校運営の基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。
 - 発達支援教室とは別に「にじいろ」があったが、どんな教室か？（森園委員）
→ 個別に指導や学習を進める児童を対象とした教室。（校長）
 - 思いやりの日やままつマナーとは？冊子があるのか？（青木委員）
→ 浜松市が作成した冊子。道徳を学ぶことができる。（校長）
→ 思いやりの日は、中学校区で設定している。朝の会や道徳の授業を通して、思いやりや命について考えている。（主幹）
 - 就学支援委員会に名前の挙がる子供の人数は？（森園委員）
→ 手元に資料がないため、すぐに答えられない。これまでは、中学校区で発達支援学級があれば、

ニーズに応えられた。しかし、今は年々と増加しているため、本校でも3学級設置している。集団ではなく、少人数で過ごす方が、学習や友達とのかかわりが深まる期待が大きい児童が在籍して、頑張っている。(校長)

○ 保護者からの問い合わせとは？(安川委員)

→ コロナ関係に対するご意見。コロナ対策を踏まえた行事の開催方法や学校生活のあり方について(主幹)

○ 昨年と今年のグランドデザインで学校教育目標があり、今年度は新たに学校経営目標が示されているが、何か意図があるのか？(池村委員)

→ 今年度、校長として大切にしたいことをグランドデザインに示し、教職員にも説明した。(校長)

○ 学校評価の児童の結果は、前後期を比較して、1%しか変化がない。これは自覚がないのかもしれないが、今年度、「自他」の成長やよさという言葉が入ってきたが、その理由は？(黒柳委員)

→ まだまだ、自分の成長やよさを実感できる子供が少ない。一方で、本校の児童は、「人の役に立ちたい」という思いが強い。その長所を生かし、そのためにも、人とかかわりの中で、自分のよさをより実感することができるようにしていきたい。その中で、友達のよさも知ることができるようにしていきたい。(主幹)

→ 自分の良さを自分で見つけることは難しいが、他人の良さを見つけてはできることがある。他人が見つけてくれた良さを自分の良さとして感じられるのではないか。(校長)

○ 見つめる子の中に「ふり返り」とあるが、その中でよさを実感するのか？(黒柳委員)

→ 振り返りを通して、子供たちが自分だけでなく、友達の良さにも気付かせたい。(主幹)

○ 運動会と音楽発表会を核とした行事にしたいとあるが、コロナの対策もあったかもしれないが、昨年度は運動会が流れてしまうような活動であったと感じた。今後、かかわりの中で自他の成長、よさを実感できる子の育成をどう図るのか。学校行事と狙いが乖離してしまうのを危惧している。(森園委員)

○ 自他の成長やよさとレベルアップしている。グランドデザインに努力点があった方が分かりやすい。(山崎委員)

○ 子供たちの実態に合わせて、ひだまりやにじいろが設置されたのは、とてもありがたい。帰りの際に、お茶をこぼした子を助ける姿があったのが、ほほえましかった。授業だけでなく、全機会を通して、子供たちを育てていくことが大切。全職員で意識してほしい。(山本委員)

○ 授業の交流で、グループの相手に拍手をしている姿があった。子供の発言を教師が受け止めていた。子供の関わりや教師との関わりの中で、よさを見つけてほしい。(大橋委員)

○ 言葉遣いの改善への取り組みは、すばらしい。(小坂委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

②「夢育やらまいか事業」について

佐山教頭から、別紙資料に基づき「夢育やらまいか事業」についての説明があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

☆その他のご意見

○ 次回以降は、授業参観の時間を割愛して、熟議の時間を増やしたほうがよいのではないかと。熟議の時間がいつも足りない。そこで、熟議の時間を増やすために、授業参観は保護者と一緒にするなどして別日に行い実施する方法もある。今後、学校で検討してほしい。(黒柳委員)

○ 協働センターは、社会教育として、地域の人とかかわり、自分のよさや他人のよさを実感すること

に協力できる。コーディネーターと連携して、学校支援活動を推進したい。花壇の整備などを地域の力を求める際には、地域の人材に何を求めるのかを伝えてほしい。(オブザーバー 瀧所長)

その他報告事項等

佐山教頭から、次回第2回会議は、令和4年6月22日(水)に開催する連絡があった。